

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.9 2004年1月19日

目次

学術局から 1 ~ 3	臨床奮戦記 5
社会局から 3	理事会・委員会報告 6, 7
施設紹介 4	求人情報・事務局から 7, 8

学術局から

1. 第4回研修会のお知らせ

平成15年度第4回研修会

学術局では、平成15年度第4回研修会を次のように計画しています。

*日 時：平成16年3月14日（日）

*会場：千葉市療育センター3階 ふれあいの家

*今回は小児分野の症例検討です。

【症例検討会】13:00～15:00

*参加費：会員・会友無料、その他の方は500円

【懇親会】研修会終了後に、会員・会友のみの懇親会を予定しております。

*詳しくは別紙をご参照ください。

*申し込み及び問合せ先：

〒290-0512 市原市鶴舞575 千葉県循環器病センター リハ科 神作暁美

TEL：0436（88）3111、FAX：0436（88）3032

（電話での問合せは17時以降にお願いします。）

円分）を貼って送ってください。

貸し出し期間：1ヶ月

あて先：〒272-0004 市川市原木1862

千葉県立市川養護学校小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

「STがおこなう高次脳機能障害の臨床」

講師 鈴木 勉先生 東京都立墨東病院

「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」

講師 長澤泰子先生 日本橋学館大学

「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」

講師 矢守麻奈先生 都立駒込病院

「重複障害児のAAC-日常生活とST訓練を結ぶ」

講師 知念洋美先生 千葉県リハビリテーションセンター

「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」

講師 安田 清先生 千葉労災病院

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援-通院及び通所（デイケア）リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」

講師 横張琴子先生 松戸神経内科

「コミュニケーションの発達と支援-前言語期から言語獲得に向けて-」

講師 長崎 勤先生 筑波大学

2. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390

*貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

今年度より、希望者に研修会資料の配布を行います。返信用封筒(A4サイズ)に住所、氏名を書き、切手(200円分)を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料:

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 - 通院及び通所(デイケア)リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り -」

講師 横張琴子先生 松戸神経内科

「コミュニケーションの発達と支援 - 前言語期から言語獲得に向けて -」

講師 長崎 勤先生 筑波大学

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表1:「高次脳機能障害のため復職に問題のあった脳外傷症例への支援」

武田智子先生 加曽利病院

発表2:「介護現場での失語症者との関わり方 - ADLが自立した重度ブローカ失語の症例を通じて -」

酒井千代先生 佐倉ホワイエ

4. 平成15年度第3回研修会報告

平成15年11月30日(日)君津中央病院4階講堂にて、成人の高次脳機能障害をテーマとした症例検討会を開催しました。参加者は38名でした。(うち会員会友30名、会員外4名、学生4名)発表者と助言者は以下のとおりです。

発表1:「高次脳機能障害のため復職に問題のあった脳外傷症例への支援」

武田智子先生 加曽利病院

発表2:「介護現場での失語症者との関わり方 - ADLが自立した重度ブローカ失語の症例を通じて -」

酒井千代先生 佐倉ホワイエ

助言者:鈴木 勉先生(都立大塚病院)

相見 優子先生(下総病院他)



症例検討会のあと、2グループに分かれて情報交換会を行いました。各グループでは助言者の先生方が中心となって、様々な臨床で役立つ情報や症例についての意見等が交わされました。当日行ったアンケートでは「とても良かった」15名、「普通」6名、「期待していた内容と異なった」0名でした。(回答者数21名)以下に、アンケート結果の一部をご紹介します。

研修会の感想

・1つ1つの症例を時間をかけてゆっくり聞くことができて良かったです。また実際の臨床の現場での対応の仕方や、その人の生活に密着した職業復帰の支援方法が聞けてとても勉強になりました。
・重度の失語症者の患者様を担当する際、うまくラポートがとれず、検査施行困難が多く日々悩んでいました。STとして、やはり言語機能を評価し把握しなければならないと思います。しかし、検査という負担をかけてSTと患者様の関係性にバリアが生じてしまっているという事はよくあることだと思いました。STはやはりセラピストであり、対人援助職だということに留意して臨床をしていきたいです。

・今回発表された症例が復職についてのことであったり訓練拒否についての内容であったりと普段私自身も悩んでいることでしたので、他の先生方の助言は非常に参考になりました。珍しい症例を取り上げるよりも、より身近な症例であったことがとてもよかったと思います。

・症例報告が良くまとめられ、分かり易いご講演でした。具体的で勉強になりました。

・現場で問題になるような症例の発表とアドバイスでよかったと思う。(施設によって高次脳機能障害の方や重度失語症者の抱える問題が多いと思われるので。)

・重度失語症の方との関係・検査について改めて考えることができました。言語面にばかり注目がちであった自分に反省しました。

・自分でももっと高次脳の検査、又職業リハについて勉強していかなければと思いました。又、病院内での共通認識を促していく必要があると感じました。

学術局より

前年度より症例検討会を行うようになり、成人がテーマのものでは 2 回目となりました。参加者の方々からは、実際の症例を通して臨床的な内容の勉強ができたとの、多数のご意見を頂きました。意見交換が少ない印象がありましたので、より活発なディスカッションがなされるよう、工夫が必要だと考えられました。情報交換会は少人数で気軽に症例相談や情報交換がなされ、有意義な場となりました。今後も皆様の研修会へのご参加とご意見をお待ちしております。

5. ネットワーク名簿の更新について

学術局では、会員・会友間のネットワーク作りを進めるため、対象領域別(小児・成人)の「学術局ネットワーク名簿」を作成しています。現在更新作業をしておりますので、変更のある方や未登録の方は所定の用紙にご記入の上、下記まで郵送又は FAX でご連絡ください。

申し込み及び問合せ先:

〒290-0512 市原市鶴舞 575 千葉県循環器病

センター リハ科 ST 神作 暁美

TEL:0436-88-3111, FAX:0436-88-3032(電話での問

合わせは平日 17:00 以降にお願いします。)

社会局から

1. 新生児聴覚スクリーニング検討委員会

県の新生児聴覚検査事業専門部会設置を受け、県士会においても県内での状況を把握し、より良い体制となるように働きかけを行うことなどを目的に、新生児聴覚スクリーニング検討委員会を設置いたしました。第 1 回の委員会は、昨年 12 月 27 日(土)千葉大学医学部附属病院第 3 会議室にて開催されました。

委員長:岡田 好(千葉市療育センター)

委員:荻洲えりも(日本補聴器センター)

斎藤真純(千葉県こども病院)

庄治和史(筑波大学附属聾学校)

高橋典子(千葉市療育センター)

常田千佳(千葉大学医学部附属病院)

村西幸代(君津中央病院)

2. ホームページについて

[お詫び]ホームページの更新が遅れ、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

[会員専用ページパスワード] affordance

急募:社会局では、ホームページの編集作業のお手伝いをしてくださる方を募集しております。ホームページに詳しい方のご協力をぜひお願いいたします。また、お知りあいの方で適任の方がおられましたらご連絡ください。

3. 実態調査委員会から

- アンケートご協力のお礼

実態調査委員会では、医療機関の方々に 1 月初旬「医療保険改定に伴う言語聴覚士の業務に関する実態調査」のアンケートを送らせていただきました。短い調査期間ではありましたが、ご協力ありがとうございました。この集計結果は、会員の皆様へお知らせするとともに、問題点などを日本言語聴覚士協会などに伝えていきたいと思っています。

施設紹介

沼南町立大津ヶ丘第一小学校

ことばの教室

教諭・ST 町田隆夫

昭和63年開設。沼南町の小学校8校でただ一つの教室です。本校以外の他校からの通級児童は、マイカーなどによる通級が多く、そのため本校に転校してくるケースもあとを絶たないのが現状です。

児童の障害は、広範性発達障害・高機能自閉症・吃音・難聴・ADHD・失語症・もやもや病・口蓋裂咽頭弁形成手術後のリハビリ・心臓病・ダウン症等と多岐にわたっています。これは、町内に1教室ということもあり、普通学級在籍条件と親のニーズを優先し、個別の言語指導を必要とする児童を積極的に受け入れてきた結果です。

学校内にあり児童の生活の場に設定されているという好条件を活用して、「社会的な自立をめざした言語指導」を心がけています。

好条件とは・・・

教諭として委員会、集会、行事等の指導時間があり、個別指導場面とは違った通級児童の側面(集団場面)が垣間見られる。

言語教室で発音、ソーシャルスキル、コミュニケーション等を習得した児童の集団内での様子が観察できる。等です。(高機能自閉児童では、物理的環境調整や感覚刺激にも配慮)

集団適応過程で、様々な問題が生じることもありますが、学級担任や保護者と連携しながら、言語終了児童が元気に友達と遊び生活している姿を見守り支援していく言語教室でありたいと思っています。

所在地：〒277-0921 東葛飾郡沼南町大津ヶ丘

3-50

TEL 04-7192-1110 FAX04-7192-1127

浦安市こども療育センター

ST 小平 理子

当センターは、浦安市保健福祉部 総合福祉センター内にあります。総合福祉センターは複合施設で、他にサービスセンター、簡易マザーズホーム、児童センターが入っています。こども療育センターは機能訓練室・療育相談室・ことばの相談室に分かれており、ことばの相談室はST常勤2名・非常勤3名で、ことばの遅れや構音の異常、吃る、難聴、学齢児の読み書き計算について、訓練・指導を行っています。基本的に個別訓練・指導が中心ですが、当センター利用児に限り公立幼稚園・保育園・小学校への巡回相談を行っています。またグループ事業として、芸術療法グループ(音楽活動・造形活動)となかよしグループを実施しています。前者は通年で対象は小学生のみ、後者は夏休み期間中で小・中・高校生を対象にしています。対外事業としては、同じ施設内にあるマザーズホームの日課参加・個別訓練を行っています。

当センターの対象は、市内在住の0~18歳の子どもですが、今年の4月現在で約400名の利用児が登録されており、新規ケースはことばの相談室だけで毎年60数名にのぼります。発達の遅れや偏りが原因でことばの発達が遅れている場合、訓練が長期化することが多く、そのような子どもにどのようなサービスを提供していくかが、今後の課題と考えています。また、多職種が関わることで多いため、臨床心理士やPT、OT、保健師等と連携を取りながら業務を行うよう心掛けています。

所在地：〒274-0042 千葉県浦安市東野 1-7-1

TEL 047-354-2722(直)

FAX 047-355-3140

臨床奮戦記

ST も訪問指導に出られたらいいのに！！

介護施設に勤務する ST の A 子と M 子のある日の会話から

A 子：M 子、久しぶり！元気が無いけれど、どうしたの？

M 子：実は、ちょっと困ったことがあって…。介護の施設に勤める先輩ってなかなかいないでしょ？だから今日は同じような施設に勤める A 子に相談できたらと思っているの。

A 子：そう、実は私も悩むことが多いのよ。で、どんなこと？

M 子：ディケアで関わっている方が誤嚥性肺炎で入院して、1 ヶ月ぶりに再利用になったの。

A 子：よくなったから戻ってきたんでしょ？よかったじゃない。

M 子：それがそうでもないの。まだ続きがあるのよ。

その方は 70 歳の男性でね、入院前から構音障害はあったけれど、日常会話には困らない程度で冗談なんかも言っていたの。それが、再利用後は発話での会話は難しくなってしまって、表情も乏しいし、文字盤をやっと指せるくらいになってしまっていたのよねえ。

A 子：あら、それは残念ね。そういえばその方の入院された病院には ST がいないわね。そんな調子なら嚥下のほうも落ちているんじゃない？

M 子：そうなの。それで、入院先では胃ろうを勧められたけれど、ご本人がどうしても口から食べたいからって断ったらしいの。で、週 2 回のディケアでは私も栄養士と相談して食事形態を考えたり、安全な摂取方法を指導したりして関わっていたのよね。もちろん家族とも電話や連絡帳でやり取りして。それでしばらくはうまくいっていたんだけど、その方がついこの前、また誤嚥性肺炎で入院してしまって…。

A 子：あらら…。

M 子：それでね、今度は私も思い切ってケアマネジャーに相談して、退院してからご自宅に訪問させていただいたのよ。そうしたら、かなり無理な状態で食事をされていたのよねえ。

A 子：ご家族はなんて？

M 子：やっぱり困っていたんだって。だれに相談していいかわからないから途方にきていたって言うのよ。私、この話を聞いて本当に申し訳なくなってしまって。

A 子：でも、しかたがないんじゃない？私たち ST には訪問はできないんだから…。

M 子：そうなんだけれど…。

A 子：ディケアの方は特にだけれど、ご自宅での様子って見たいわよね。施設の場面だけがよければそれでいいというわけにはいかないし。介護って生活のなかのことだものね。

M 子：A 子もそう思うでしょ？やっぱりそうよねえ。で、A 子の方は？どんな悩みがあるの？

A 子：う～ん。今日はもういいわ。仕事の話はもう止めてば～っといきましょ！

それでも、やっぱり仕事の話になってしまう二人でした…。

みなさんのなかで家族指導がうまくいかなかった、訪問に行って効果があった…などの経験をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ぜひご意見をお聞かせください。

今回は、A 子さんから推薦していただいた方に引き継いで書いていただきます。もし皆さんのところに原稿依頼があった際には、ぜひご協力をお願いいたします。次号もお楽しみに!!!

平成 15 年度 理事会の報告

第15回

日時：2003年11月13日（木）20：50～23：20

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：神作、竹中、常田、村西（理事4名）

古川（書記1名）

（会長より）

- ・日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会参画について
- ・保健医療分野及び福祉分野における各資格の養成所の入所資格等の見直しについて

（事務局より）

- ・新入会員の承認について

（学術局より）

- ・平成15年度第3回研修会について

- ・地域・分野別勉強会について

（社会局より）

- ・新生児聴覚スクリーニング精査機関交流会について
 - ・千葉県士会の新生児聴覚スクリーニング検討委員会について
 - ・千葉県内の言語聴覚療法の情報公開に関するアンケートについて
 - ・千葉県新生児聴覚検査専門部会について
- （実態調査委員会より）
- ・保険診療改定に伴う実態調査について

第16回

日時：2003年11月30日（日）17：00～18：00

場所：君津中央病院 第2講堂

出席者：神作、常田、野島、村西（理事4名）

田中、古川（書記2名）

（会長より）

- ・日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会について
- ・RST協会、第5回日本言語聴覚学会について
- ・介護保険フォーラム2003について
- ・関連諸団体からのニュース送付について

（事務局より）

- ・新入会員の承認について
- ・都道府県士会協議会について

（学術局より）

- ・地域・分野別勉強会について

（社会局より）

- ・千葉県士会の新生児聴覚スクリーニング検討委員会について

第17回

日時：2003年12月10日（水）20：00～23：00

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、野原、

村西（理事8名） 田中、古川（書記2名）

（会長より）

- ・関連職能団体からのお知らせについて
- ・日本言語聴覚士協会入会の案内について

（事務局より）

- ・千葉県士会ニュース No.9 について

- ・日本言語聴覚士協会との連携について

- ・新入会員の承認について

（学術局より）

- ・平成15年度第3回研修会について
 - ・地域の勉強会についてのアンケートについて
- （社会局より）

- ・新生児聴覚スクリーニング検討委員会について
 - ・新生児聴覚スクリーニング作業部会について
 - ・新生児聴覚検査専門部会について
 - ・他県士会に対し実施したアンケートについて
- （ST業務実態調査委員会より）

- ・保険診療改定に伴う実態調査について
- ・医療保険改定に伴う言語聴覚士の業務に関する実態調査のアンケート素案について

事務局会議の報告

第1回

日時：2003年12月28日（日）10：10～12：10

場所：緑ヶ丘公民館

出席者：柴田、野原、村西、竹中（書記）

- ・地域組織検討委員会の設置について
- ・会費滞納者の対応について
- ・会員の住所変更の確認について
- ・会員データの更新方法について
- ・広告規定について
- ・補正予算について

実態調査委員会の報告

第2回

日時：2003年10月19日（日）9：00～13：00

場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：新井、宇野、木村、勝又、竹中、常田

- ・調査目的・項目・期間について
- ・送付先について

第3回

日時：2003年12月7日（日）9：00～13：00

場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：新井、宇野、木村、藤倉、宮本、竹中

- ・アンケート依頼文について
- ・アンケート素案について
- ・印刷発送について
- ・調査日程について
- ・調査後の日程について

新生児スクリーニング検討委員会の報告

第1回

日時：2003年12月27日（土）10：00～12：00

場所：千葉大学医学部付属病院 第3会議室

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、常田、村西

- ・委員の役割について
- ・交流会での協議内容についての報告について
- ・県の新生児聴覚検査専門部会に關しての説明
- ・県士会としての県への意見について

（紙面の都合上、報告と協議事項をまとめて記載してあります。）

求 人 情 報

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページ

<http://users.hoops.ne.jp/crst2002> をご覧下さい。

みつわ台総合病院

- ・募 集：常勤1名（経験者希望）
- ・施設概要：リハビリテーション総合承認施設
- ・応募方法：平成16年の1月末日までに履歴書を郵送してください。2月初旬に面接試験の予定
- ・郵送先：〒264-0021 千葉市若葉区若松町 531-486
みつわ台総合病院リハビリテーション科

- ・問合せ先：科長 井田 043-251-3030（代表）

下 総 病 院

- ・所在地：船橋市滝台町 94-22
- ・募集：常勤1名（経験、新卒問わない）
- ・対象：成人（嚥下障害、dysarthria、失語症等）
- ・採用時期：平成16年より
- ・問合せ先：047-464-8111 リハビリ科 ST 市川

松戸市こども発達センター

- ・所在地：松戸市五香西 3-7-1
- ・募集：言語聴覚士 非常勤1名
できれば経験者希望 6月11日から勤務可能な方
- ・対象：小児（言語発達遅滞、機能的構音障害、難聴等）
- ・勤務：週5日 9：00～17：00（実労7時間）
- ・問合せ先：047-383-6801 相談診療部門 丸原由美

小 張 総 合 病 院

- ・所在地：野田市横内 29-1
- ・募集：常勤
- ・対象：成人、小児の言語障害
- ・採用時期：随時
- ・問合せ先：04-7124-6892 リハビリテーション科 小林

筑 波 病 院

- ・所在地：茨城県つくば市大角豆 1761
- ・募集：常勤
- ・対象：成人、小児の言語障害（聴覚障害除く）
- ・採用時期：随時
- ・その他：病院のほかでの勤務もあります。
- ・問合せ先：リハビリテーション科

言語心理室 千本（ちもと）恵子

塩 田 病 院

- ・所在地：勝浦市出水 1221
- ・募集：常勤2名 新卒、経験者問いません。
- ・採用時期：6月から随時
- ・対象：失語症及び dysarthria、嚥下障害
- ・問合せ先：0470-73-1221

リハビリテーション科 PT 宮島、ST 斎藤

湯河原厚生年金病院

- ・施設概要：リハビリテーション総合承認施設
- ・募集：常勤

- ・応募方法：履歴書、免許証（写し可）を郵送
財団法人厚生年金事業振興団
湯河原厚生年金病院
〒259-0396 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 438
TEL0465-63-2211 庶務課 肥川

八千代ケアセンター

- ・所在地：八千代市島田 55-1
- ・施設区分：介護老人保健施設
- ・募集：常勤
- ・問合せ先：047-488-8788 事務 鈴木

秋元病院

- ・所在地：鎌ヶ谷市初富 808-54
- ・募集：常勤 1 名
- ・対象：精神科、内科の入院患者
- ・採用時期：面接は随時
- ・その他：新規立ち上げのため経験者を希望。
- ・問合せ先：047-445-8321 事務局長 秋元

田中農協病院

- ・所在地：〒277-0871 柏市若柴 110 番地
- ・募集：常勤 1 名 経験者希望
- ・対象：成人（嚥下障害、失語症、構音障害）
小児（構音障害）
- ・採用時期：随時
- ・問合せ先：04-7131-5602

リハビリテーション科 高橋

千葉県こども病院

所在地：〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1
募集：非常勤嘱託 2 名（週 4 日、30 時間）
応募資格：4 年生大学卒業以上の有資格者で、臨床経験 3 年以上（口蓋裂の臨床経験があると望ましい）
対象：小児全般（口唇口蓋裂児の評価・訓練、聴力検査等）
採用時期：平成 16 年 4 月 1 日
履歴書提出先：千葉県こども病院
コメディカルグループ室 言語 佐藤
締切：平成 16 年 2 月 30 日（必着）
問合せ先：月・木・金曜日
形成外科 言語室の佐藤または香取

「日本言語聴覚士協会」からのお知らせ

入会のご案内

日本言語聴覚士協会は、言語聴覚障害がある方々に良質の専門的サービスを提供することを目指した活動に、以下のように多方面から取り組んでいます。

1. 専門的サービスの普及
2. 専門的サービスの向上
3. 関連団体との連携

多くの言語聴覚士の方のご入会を心よりお待ちしております。

投稿のご案内

学術誌を平成 16 年度発刊する予定です。
皆さんからの投稿をぜひお願いいたします。

【問合せ先】日本言語聴覚士協会事務所
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-8

正和ビル 304

TEL 03-5338-3855 FAX 03-5338-3856

ホームページ/ www.JASLHT.gr.jp/

入会申込書はホームページからダウンロードすることもできます。

事務局から

新入会員のおしらせ 正会員（敬称略）

相見優子（北区立障害者福祉センター）

田畑明子（吉川市こども発達センター）

富田香織（筑波大学附属聾学校）

小島哲子（野田市立中央小学校）

会員数：正会員 178 人 会友 14 人

事務局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010

君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室

TEL：(0438) 36-1071 FAX：(0438) 36-3867

<http://users.hoops.ne.jp/crst2002/>

会員専用パスワード：affordance

